



Title	Frequency of seaweed intake and its association with cardiovascular disease mortality: the JACC study
Author(s)	岸田, 里恵
Citation	大阪大学, 2020, 博士論文
Version Type	
URL	https://hdl.handle.net/11094/76412
rights	
Note	やむを得ない事由があると学位審査研究科が承認したため、全文に代えてその内容の要約を公開しています。全文のご利用をご希望の場合は、大阪大学の博士論文についてをご参照ください。

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

論文内容の要旨
Synopsis of Thesis

氏 名 Name	岸田 里恵
論文題名 Title	Frequency of seaweed intake and its association with cardiovascular disease mortality:the JACC study (海藻の摂取頻度と循環器疾患死亡リスクとの関連：the JACC study)
論文内容の要旨 〔目 的(Purpose)〕 海藻は食物繊維、ミネラルを豊富に含み、動脈硬化性疾患の予防につながると考えられている。本研究は、地域一般住民において、海藻摂取頻度が多いことが循環器疾患死亡リスクの低下と関連するか否かを明らかにすることを目的とした。 〔方法ならびに成績(Methods/Results)〕 1988-1990年にJACC Studyに参加した73,010人を2009年末まで追跡した。食事調査は33項目の食事摂取頻度問診票により行い、海藻の摂取頻度を、「ほとんど食べない」、「月1-2回以下」、「週1-2回以下」、「週3-4回」、「週5回以上」の5群で聞きとった。死因は、循環器疾患死亡（ICD10:I01-99）、脳卒中死亡（ICD10:I60-69）、虚血性心疾患死亡（ICD10:I20-25）とした。分析にはCox比例ハザードモデルを用い、海藻をほとんど食べない群を基準として、各群の循環器疾患、脳卒中（脳梗塞及び脳卒中）、虚血性心疾患の多変量調整ハザード比を算出した。調整変数は、地域、年齢、body mass index、喫煙、飲酒量、教育歴、運動、歩行時間、肉摂取量、魚摂取量、野菜摂取量、果物摂取量、摂取エネルギー、ナトリウムを用いた。中央値16.2年の追跡期間中、男性3,315人（脳卒中1,432人、虚血性心疾患775人：脳卒中のうち脳出血449人、脳梗塞560人）、女性3,210人（脳卒中1,397人、虚血性心疾患602人：脳卒中のうち脳出血544人、脳梗塞453人）の死亡が認められた。海藻をほとんど食べない群に対する週5回以上の群の多変量調整ハザード比（95%信頼区間；傾向性p）は、男性の全循環器疾患0.79（0.62-1.01;0.72）、脳卒中0.70（0.49-0.99;0.47）、脳梗塞0.69（0.41-1.16;0.11）であった。女性ではそれぞれ0.72（0.55-0.95;0.001）、0.70（0.46-1.06;0.01）、0.49（0.27-0.90;0.22）であった。一方、脳内出血、虚血性心疾患との有意な関連は認められなかった。 〔総 括(Conclusion)〕 日本人男女において、海藻摂取頻度が循環器疾患死亡リスク、特に脳梗塞死亡リスクと負の関連が認められた。	

論文審査の結果の要旨及び担当者

(申請者氏名) 岸田 里恵		
論文審査担当者	(職)	氏 名
	主 査	大阪大学教授 磯 博康
	副 査	大阪大学教授 相沢 友子
	副 査	大阪大学教授 坂田 泰史

論文審査の結果の要旨

本研究は、地域住民を対象としたコホート研究を用いて、海藻摂取頻度と循環器疾患死亡リスクとの関連を調べた。

申請者は、Cox比例ハザードモデルを用い、地域、年齢、body mass index、喫煙、飲酒量、教育歴、運動、歩行時間、肉摂取量、魚摂取量、野菜摂取量、果物摂取量、摂取エネルギー、ナトリウムを調整した上で、海藻をほとんど食べない群を基準として、「月1-2回以下」、「週1-2回以下」、「週3-4回」、「週5回以上」各群の循環器疾患、脳卒中（脳梗塞及び脳卒中）、虚血性心疾患の多変量調整ハザード比を算出した。

海藻をほとんど食べない群に対する週5回以上の群の多変量調整ハザード比（95%信頼区間；傾向性p）は、男性の全循環器疾患0.79（0.62-1.01;0.72）、脳卒中0.70（0.49-0.99;0.47）、脳梗塞0.69（0.41-1.16;0.11）であった。女性ではそれぞれ0.72（0.55-0.95;0.001）、0.70（0.46-1.06;0.01）、0.49（0.27-0.90;0.22）で、海藻摂取頻度が循環器疾患死亡リスク、特に脳梗塞死亡リスクと負の関連することを示した。

以上により、本研究は、海藻の摂取頻度と循環器疾患死亡とを検証した世界で初めての研究であり、海藻の健康影響に関する疫学的エビデンスの構築に貢献できる可能性がある。よって、本論文は、博士（医学）の学位授与に値すると思われる。